

三友会だより



第 82 号

平成 30 年 4 月 20 日発行

宮崎市神宮西 1-49-1

TEL : (0985) 32-2234

<http://www.sanyu-kai.jp/>

発行者 石川 智信

ホーキンス博士と妻

石川 智信

今年の冬は寒かった。そしてインフルエンザが例年よりも早く 12 月から始まり、今年の 3 月になっても収まる気配を示さず、異様な冬であった。その分、桜が昨年よりも早く咲き、金木犀の香りが漂った 3 月中旬の春の息吹は、例年以上に嬉しく感じられた気がする。

3 月 14 日、ALS（筋萎縮性側索硬化症）という難病と闘いながら宇宙の不思議さや素晴らしさを伝え続けたイギリスのホーキンス博士が次の世界に旅立った。彼の宇宙理論はもちろん凡人の私に理解できるものではないが、わかりやすい言葉で宇宙を身近な好奇心の対象にしてくれた。見上げると頭上に輝く星々たちが、それぞれの歴史を語りかけてくるような気持ちになることがある。本当にちっぽけな自分と広大な宇宙とが一對一で向き合っている時は、いろいろな心の重荷から解放される至福の時である。

ホーキンス博士は ALS により身体機能の多くを制限されながらも、心は我々以上に自由であったのだろう。思索する力や想像する力は、身体の不自由さには関係なく、いくらでも大きくできる。与えられた困難な状況を肯定的に生きることは簡単ではないが、彼を見ていると、好奇心さえ持ち続ければ前を向いて生きることができるような気がする。

妻も毎日好奇心を持ち続けて生きている。庭の草花やプランターに植えた花の、日々のわずかな変化に一喜一憂している。いしかわ内科の看板のある小さな庭にも、毎日早朝の散歩時に細やかな目配りを施し、枯れた花の植え替えや乾いた土への補水を左手一本で行っている。どうしたら訪れる人がその花たちを見て感動してくれるのか、日々考えているらしい。さらに家族や親族、そして友人たちの誕生日や慶弔の日をしっかりと記憶して、様々な贈り物をしている。そこに失語症を克服したいと日々書き続けている、文法も助詞の使い方も無視した文章を添えている。へんてこりんな文章であるが、思いは伝わっているらしい。贈り物を受け取った相手からは妻の懸命さに感動するお礼の手紙が届く。その手紙を必死に読みこなそうと、私に解説をせがむ。まだまだ失語症からの完全回復には程遠いが、決してあきらめることなく辞書と夫を片手に学習に取り組んでいる。

ホーキンス博士は言った。「宇宙は、愛する人たちがそこにいなければ、大した意味はない」。私たちが今存在する地球もまた、愛する人がいて初めて住むに値する場所なのだと思う。私たちが生きるために必要なもの、それは本当にわずかであり、根本は愛する人に囲まれ、同時に自分が愛されるための努力なのであろう。そしてそれは、謙虚に、そして一生懸命に前を向いて生きることだと、ホーキンス博士と妻が私を諭してくれている。



「かかりつけ医として 患者が最期を迎えるその日まで
責任をもって寄り添える医師でありたい」

宮崎生協病院 1 年目後期研修医 内科 堀 竜太

平成 30 年 1 月に地域医療研修でいしかわ内科様にお世話になりました。1 か月間という短い研修期間ではありましたが、この度こうして執筆の機会をいただいたことを大変光栄に思います。拙い文章ではございますが、一読いただけると幸いです。

題目は往診の帰り道、平和台大橋を渡る車中で何気なく言われた一番好きな先生のお言葉です。

昨今、医師の専門性の細分化が進み、また宮崎のような地方においても、都心と大きく変わらない専門性の高い高度な医療を受けることができる社会になりつつあります。それは終末期医療、緩和ケアの分野においても例外ではなく、緩和ケア専門の病棟を備える病院、施設などもメディアで取り上げられることが多くなりました（有名なところだと「大分ゆふみ病院」、笑って死ねる病院「城北病院」など）。その中で今回研修をするにあたり、在宅という選択肢を選ばれた患者さん達、ご家族と関わる機会が非常に多くありました。1 か月を通して印象に残っていることは、患者さんが病気と向きあいながらも、我が家で家族との時間を大事にしながら人生を重ねていっている姿、そしてそれを親身に支える人たちの姿だったと思います。個々の方達とお話を深めることはなかなかできませんでしたが、個々の患者さんごとにいろんな事情がある中で、責任をもって 24 時間困ったときには必ず対応する医療人としての先生方、スタッフの方々の姿勢に感銘を受けました。

私は実は去年の 12 月までは専攻科もそうですし、自分のやりたいことを決め切れておらず、中途半端なままに貴重な初期研修を終えようとしていました。今回の研修を通して、自分の患者が最期を迎えるまで責任をもって寄り添う、そんな医師になりたいと心の底から思いました。これからも真摯に患者さんと向き合い、この信念を貫き通すことのできる医師になるために精進してまいります。

この度は研修を受け入れていただき誠にありがとうございました。これからも当院の研修医の後輩たちがお世話になるかと思いますが何卒よろしくお願いしたいと思います。

もうお孫さんとのサッカー後の腰の痛みは治りましたでしょうか。これからスポーツシーズンになりますが、愛するお孫さん、奥様、ご家族と一緒に先生もくれぐれもご自愛ください。ありがとうございました。

「利用者芸術作品展」

健幸くらぶ万智 吉田圭佑

3月4日に行われました第21回宮崎県老人デイケア研究大会にて、「利用者芸術作品展」が開催されました。企画の趣旨としては利用者の方々が、本格的な作品を創造することで、趣味活動や生きがいの再獲得に繋がるようにというものでした。

出展作品の募集案内が届いたとき、私には必ず出展して皆さんに見ていただきたいという作品がありました。

その作品を作られた方は菓子職人として40年以上働かれ、当施設を利用時にも和菓子を作っては利用者や職員に振る舞ってくださっています。そんな利用者様が趣味の一つで作られていたのが、紙粘土で作った和菓子を模した作品でした。

作品展の趣旨を説明し出展のお願いをすると、二つ返事で快く引き受けてくださいました。当初は作品の全てを紙粘土で作る予定でしたが、「人様の前に出すのであれば…」ということでキレイな色合いが出るよう本物の餡子を使用したもので作品を作られました。そこに菓子職人としての”こだわり”を感じるとともに、普段の会話からは知り得ることのできない利用者様が積み重ねてきた経験や技術、菓子作りへの真剣な想いを感じることができました。

作品展当日には、他の利用者の方々の作品も素晴らしいものばかりで、絵画や書道、短歌、俳句などいろいろな作品に触れることができました。どの作品も種類や手順等に違いはありますが、利用者様一人一人がコツコツと努力や時間を積み重ねて作られた作品ばかりでした。

これからも皆さんの『こんなことをやってみたい』『こんなものを作りたい』という意欲を大切に、作品作り、生きがいづくりのお手伝いをさせて頂ければと思います。



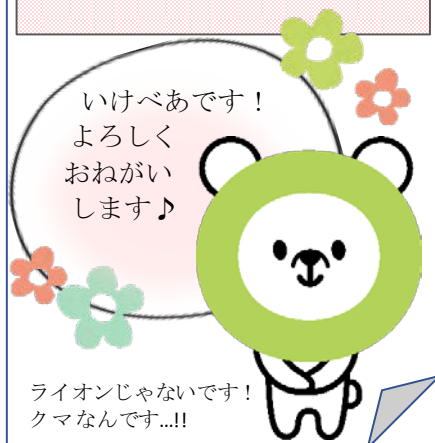
こんにちは。いしかわ内科を担当しています池部医療器の蛸原です！
今回縁あって『三友会だより』に載せていただく事になりました。僕の勤める池部医療器がどんな会社なのか、簡単ではありますが紹介したいと思います！

宜しく



あ。それから...
実は池部医療器には、公式キャラクターがいるんです！

いけばあです！
よろしく
おねがい
します♪



ライオンじゃないです！
クマなんです...!!

弊社は昭和59年4月に有限会社としてスタートしました。
現在、「医療部」と「福祉事業部」の2部署で営業させて頂いています。
「医療部」では、鍼灸院や整骨院を中心に、低周波治療器やウォーターベッド等の販売や修理等、「福祉事業部」では介護保険を利用したレンタルや販売、住宅の改修工事等を行っています。



※販売は介護保険での購入以外に、杖や靴等の実費購入もあります。

レンタル

お体やご使用場所等の状況・状態に合わせて
適切な福祉用具を選定します。



車椅子



歩行器



ベッド

これ以外にも、
手すり(取付に工事を伴わないもの)や
床ずれ予防用具等
があります。



購入

介護保険を利用して、
購入もできます。



ポータブルトイレ

シャワーチェア

※購入品や利用限度額等条件があります。
※靴等は介護保険適用外ですので、実費での購入となります。

住宅改修

相談・打合せの上、手すり
等の取付を行います。



浴室の壁に...



掴まる所の

ない壁に...



何かお困りの事が
ありましたら、
お気軽に
お問い合わせください！



お待ちしております！

株式会社 池部医療器

〒880-0024 宮崎市祇園3丁目26番地

☎0985-26-5405





満開の桜

地域連携室 甲斐 俊二

私の家の前に、桜の木が一本ある。近所では、通称「三角公園」と呼ばれている小さな公園に、ドンと根を下ろしている。

毎年、きれいな花を咲かすのだが、年によって満開になる時期が違う。

なぜ、そこまで満開の時期にこだわるのかというと、五年前 家内が亡くなり、自宅から出棺する時、ちょうど花が散り始めた時だった。その時は、桜の木も一緒に家内の死を悲しみ、花を散らしているように感じたものだった。

それは忘れもしない、5年前の3月28日だった。

それまでは、桜の花が満開になって、桜の花が散るときも、「ああ きれいだな。」と思う事はあっても、「いつもより早いな。」とか「今年は花が咲くのが遅いな。」ということは、ほとんど気にしたことはなかった。

ただ今は毎年この時期には、家の前の桜の様子をみてしまう。

あの年以來、いつも青々とした葉が目立ち、桜の花はほとんど咲いていないことが多かった。

咲いたとしても、3月28日に花が散ることはなかったと思う。(少なくとも家の前の桜の木については)

そして、今年の3月28日は、久しぶりに桜の花がほぼ満開の状態だった。

この5年 この時期にこれだけ花をつけた事はなかったと思う。

一緒に住んでいる娘も、「お母さんの出棺の時は、桜がきれいだったよね。今年は久しぶりに花が咲いたね。」と窓の外を見て言っていた。

あの時は、桜の木が家内の最期を一緒に悲しんでくれたように思えたが、今年の桜は、「がんばれよ。」と温かく声をかけてくれているように感じた。

あれから5年。息子も娘も社会人となり、それぞれの道を歩んでいる。

天国の家内にとっては、心配の尽きない私や子供たちかもしれないが、きっと応援してくれているだろう。

今年の桜は、家内が私たちに元気を与えるために、桜の木にお願いして満開にしてくれたのかもしれない。



新人紹介

～よろしく願いいたします～

田ノ口 賢市

(健幸くらぶ万智 あん摩マッサージ
指圧師)

4月から健幸くらぶ万智であん摩マッサージ指圧師として勤務しています。介護の現場で働くのは初めてで、ご迷惑をおかけすると思いますが、利用者の皆様の痛みが少しでもなくなり笑顔で過ごせるよう頑張ります。よろしく願いいたします。



西嶋 美里

(祇園デイサービス 理学療法士)

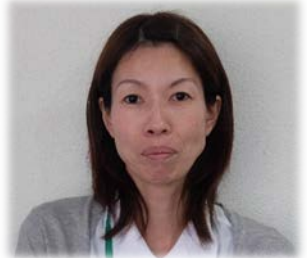
皆様と一緒に良いハビリができるよう頑張ります。よろしく願いいたします



山本 恵子

(祇園デイサービス 介護福祉士)

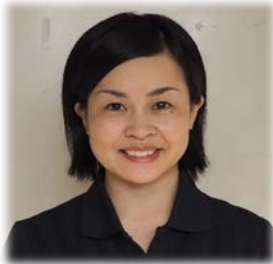
利用者様の笑顔が毎日見られるように良いサービスが提供できるよう一生懸命頑張ります。よろしく願いいたします。



黒木 優

(健幸くらぶ万智 介護職)

4月9日から勤務しております。デイサービスでの勤務は初めてですが、みなさんと楽しい時間を過ごしたいと思っています。よろしく願いします。



道本 純子

(祇園デイサービス 作業療法士)

利用者様の皆様により豊かで楽しみのある日々を過ごしていただけるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



<編集後記>

春ですね～。宮崎の桜も3月28日に満開となりハラハラと散って行きました。それはまるで空から桜が降ってくるようでした。でも今年は降ってくるのは雨や桜ばかりではありません。そうです。灰も降るのです。みなさん何度も洗車を繰り返し大変ですよね。そろそろ新燃岳も落ち着いてほしいものです。もしかしたら今度は幸せが降ってきてくれるかもしれませんよー(^)v (Y.N)

